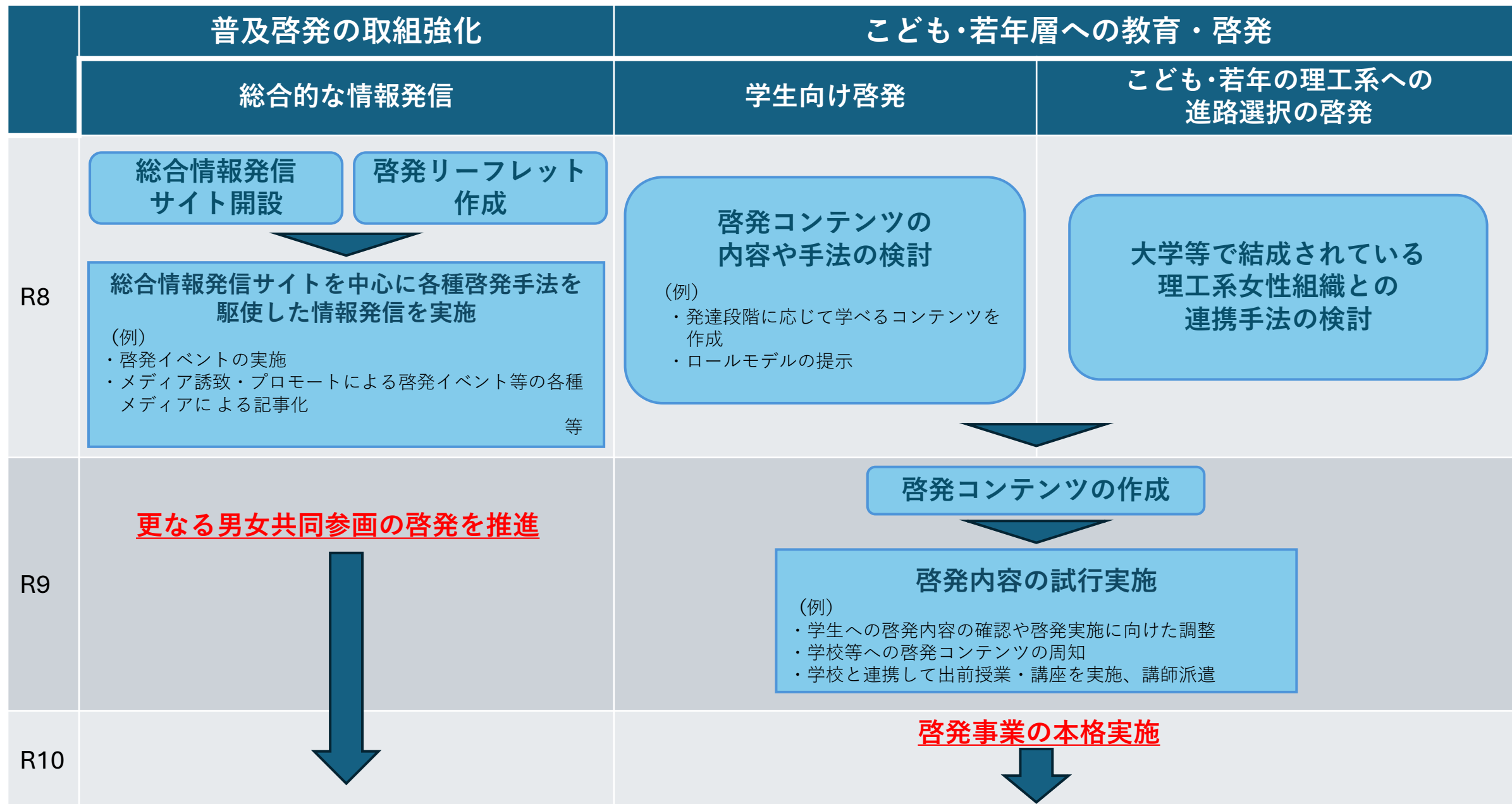


今年度取組等について

施策分野 I の取組み予定（昨年度資料）



施策分野Ⅰの今年度事業について

○男女共同参画にかかると総合情報発信サイト開設及び広報促進業務（市民局主催事業）

- 総合情報発信サイトを事業の基盤として作成したうえで、啓発イベント、インターネット広告、啓発リーフレット等により、総合情報発信サイトへの流入を促す。

総合情報発信サイト



流入



啓発イベント



インターネット広告



リーフレット



施策分野Ⅰの今年度事業について

○「大阪市探究EXPO2026」への参加（教育委員会主催事業）

- 産官学が連携して児童生徒が未来の社会を考えるきっかけを提供し、問題解決能力、コミュニケーションスキルなど未来をよりよく生きるための力を育成することを目的とした事業。
- 「性別によるハードルがどのようなものか、ハードルをなくすにはどうすればいいか考えてみよう。」というテーマで、市民局として参加。
- テーマに沿って小・中学生が解決策を考え、解決プランを小・中学生が動画形式で作成し提出する。

大阪市探究 EXPO 2026



「未来」をテーマとした探究的な学び
「大阪市探究EXPO2026」を実施します



本取組では、児童生徒は、参加企業・団体から提示された「未来」をテーマとした課題（動画ファイル及びリーフレット）から一つを選択し、グループごとにその解決プラン（課題の解決に向けた提案）を考案のうえ、プレゼンテーション等の動画形式にまとめて作成し、提案します。

規模感

参加校：17校（小3～中2）

企業・団体数：17の企業・団体

動画の内容（5～10分程度）

- 企業・団体の紹介（職種、理念、どんな仕事をしているかなど）
- 企業・未来の取り巻く背景や今後のビジョンなど
- 企業からの課題提示や課題へのアプローチ方法など

提示いただく課題

児童生徒が未来の社会を考えるきっかけとなる課題を提示してください。例えば、

- ・社会に「豊かな余白」を生み出す未来のアミューズメントの形を提案せよ。
- ・誰もが「自分らしく」いられる未来のまちを提案せよ。他未来のお風呂、ホテルなど

実施いただく内容

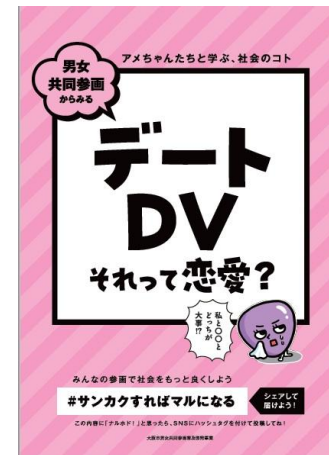
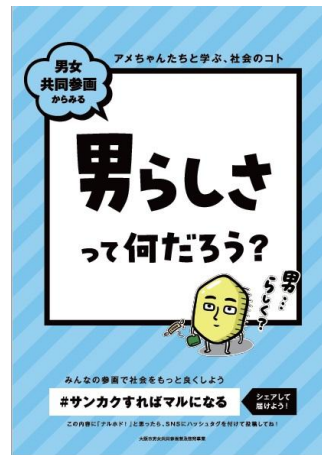
1. リーフレットと動画の作成
2. 途中、児童生徒の作成した解決プランの素案の内容についての助言
3. 参加団体賞の選定
4. 受賞者へのビデオメッセージ（3～4分）と講評コメントの作成 など

施策分野 I の今年度事業について

○その他の今年度事業について

◎男女共同参画普及啓発パネルの貸出を開始

- ・令和6年度以前に作成した啓発パネルの有効活用として、希望する区役所・団体への貸出制度を開始

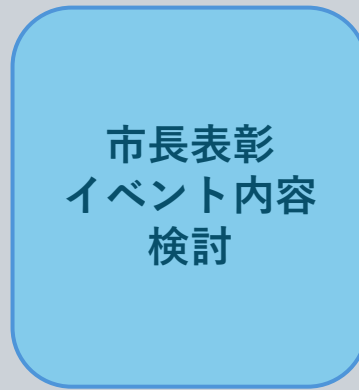
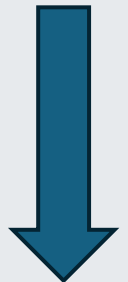


◎男女共同参画週間における啓発

- ・市役所1階でのパネル展示（継続事業）
- ・映画（スーパーガール）とタイアップしたポスターを市内各所に掲示

◎市内24区において、パネル展示等区役所と連携した啓発（継続事業）

施策分野Ⅱの取組み予定（昨年度資料）

	誰もが働きやすい環境整備			ライフイベントへの男性の 参画促進と支援
	女性活躍リーディングカンパニー認証事業			情報発信事業
	中小企業への支援・啓発強化	市長表彰 イベント開催	PRイベント	大阪市女性活躍推進 ポータルサイトの刷新
R8	・中小企業への支援・啓発手法 ・経営管理者層へのアプローチ手法 上記の検討  中小企業向け支援・啓発強化 (例) ・アウトリーチによる経営層への啓発促進 ・経営管理者層向けセミナー開催 ・一般従業員向けセミナー （ハラスメント、健康課題等）開催 ・中小企業の認証目標数設定 等	 市長表彰 イベント内容 検討 	各団体との 連携手法検討  PRイベント実施 (例) 民間企業、関係団体や他部局 と連携し企業や市民に対して 認証制度のPRイベントを実施	新ポータルサイト立ち上げ に向けた手法検討 (例) ・現サイト問題点洗い出し ・新サイトデザイン検討 
R9	中小企業認証取得促進の さらなる啓発を推進 	市長表彰イベント (例) 第1部 市長表彰 第2部 講演会、先進事例 紹介セミナーなど	前年度の成果及び課題を反映 継続実施 	新ポータルサイト立ち上げ (例) ・名称の変更 ・デザインの改善 ・コンテンツの見せ方の工夫 性別を問わず誰もが利用しやすいサイト へ刷新

施策分野Ⅱの今年度事業について

女性活躍リーディングカンパニー認証 令和9年度市長表彰でのイベント開催に向けて 「令和8年度市長表彰式＋経営者向けセミナー」の開催

認証制度の認知度向上、取得の有用性を高めることを目的に、令和9年度に市長表彰とイベントの同時開催を予定。
今年度はプレイベントとして市役所内で「市長表彰式＋経営者向けセミナー」を開催し、翌年の実施につなげる。

「令和8年度市長表彰式＋経営者向けセミナー」開催（令和9年1月下旬予定）

- ・ 参加対象：認証企業（市長表彰受賞企業も含む）
- ・ 内 容：市長出席による表彰式、表彰企業による先進事例セミナー、企業交流会など
- ・ 会 場：市役所内会議室（30名規模を想定 会場は屋上階P1会議室を予定）
- ・ そ の 他：市長表彰は市が運営、セミナー等は委託事業者が行う

【参考】令和9年度開催予定イベント

- ・ 参加対象：認証企業だけでなく一般企業も参加可能
- ・ 内 容：市長表彰式、著名人による講演会など
- ・ 会 場：外部ホール（200人規模）



令和9年度 開催イメージ

施策分野Ⅱの今年度事業について

女性活躍リーディングカンパニー認証PRイベント

「大阪市クロスメンタリングプロジェクト2026」の開催

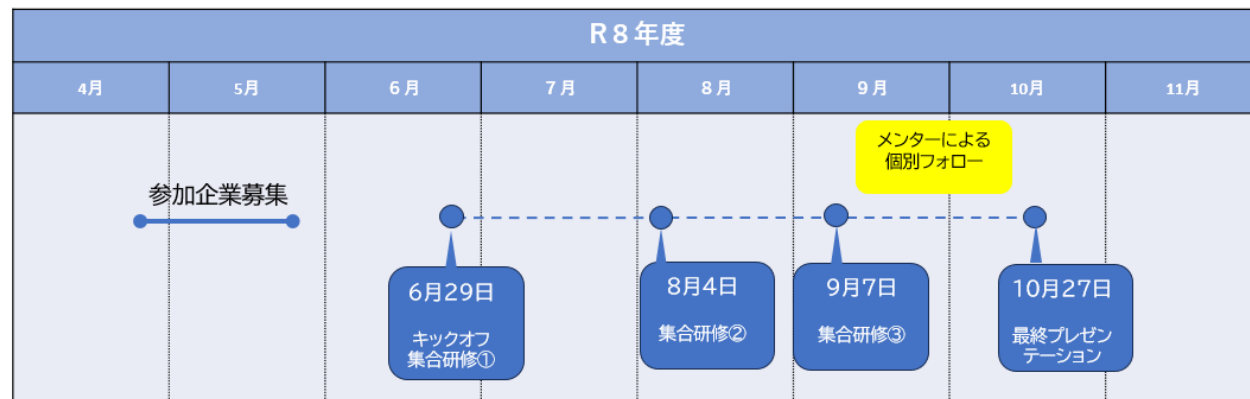
東京海上日動火災保険株式会社との共催事業

クロスメンタリングとは、他企業のメンターと対話し成長を支援する企業横断型のメンタリング制度

- ・参加対象：大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証企業の女性管理職や管理職候補者
- ・支援内容：東京海上日動のメンターが、参加者に伴走するクロスメンタリングを実施し、女性視点からの参加企業の経営課題の特定と解決に向けた道筋づくりを支援
- ・その他：集合研修（全3回）と個別フォロー、および成果発表会を実施予定

15社24名
参加中

「大阪市クロスメンタリングプロジェクト2026」スケジュール



施策分野Ⅱの今年度事業について

○大阪市女性活躍推進ポータルサイト刷新（令和8年末に移行予定）

- ・ 現サイトは男性がアクセスしにくいビジュアルとなっているため、デザインを改善するなどを行い、すべての人に訴えかけるものに刷新し、あらゆる人に情報を広く届ける。

現ポータルサイト

サイト名「きらめく女性の応援ひろば 未来へ」を削除

ロゴの色をピンクからニュートラルな色に変更



新着情報

曲 2026-07-01 「女性の健康×健康経営」で企業を強くする！

女性メインの見た目を性別を問わないビジュアルに変更

新サイトイメージ



新着情報やコンテンツのカテゴリを整理しわかりやすく

最新のインタビュー



2026.01.13
インタビューのタイトルがはいります。インタビューのタイトルがはいります。インタビューのタイトルがはいります。



2026.01.13
インタビューのタイトルがはいります。

施策分野Ⅱの今年度事業について

○その他の今年度事業について

◎中小企業の女性活躍リーディングカンパニー認証取得促進

- ・令和8年度の新規認証取得企業の目標「80件以上」に『**うち中小企業60件以上**』を追加。
中小企業の認証取得を重点的に後押しし、認証の裾野を拡大する。



◎認証企業向けおよび一般企業向けセミナーの対面開催

- ・オンライン開催中心であった企業向けセミナー（年間8回）のうち、年3回を**対面で開催**する。

◎大阪府事業「ドーンdeキラリフェスティバル2026」との連携

- ・ドーンセンターが9月4日（金）5日（土）に開催する「**ドーンdeキラリ フェスティバル2026**」と連携し、一般企業向けの対面セミナー「自社に合わせたワーク・ライフ・バランスを考える」を開催する。

◎合同企業説明会での認証企業（三つ星企業）のブース設置

- ・合同企業説明会に**認証企業専用ブースを設置**し、認証企業の採用力向上と制度の社会的価値を高める。

◎女性活躍リーディングカンパニー認証項目等の見直し（令和9年4月から施行予定）

- ・認証基準等をより時代に相応しいものとなるよう見直しを行う。
専門的見地からの客観的な意見を聴取するため、専門委員による認証基準等検討会を実施する。

施策分野Ⅱの今年度事業について

○女性活躍リーディングカンパニー認証項目等の見直し

本事業は平成26年10月に施行し、令和2年に認証項目等の見直しを行って以来、5年以上が経過していることから、認証基準をより時代に即したものにするため、改めて見直しを行う。見直しにあたっては、専門的見地からの客観的な意見を聴取するため、専門委員による認証基準等検討会を実施する。

【スケジュール】

令和8年8月21日 第1回 認証基準等検討会

令和8年11月中旬 第2回 認証基準等検討会

令和9年1月 改定基準(要綱) 策定

令和9年4月 改定要綱 施行



主な見直し予定項目

係長・チーフ相当職に
占める女性の割合

(3年間で上昇していること、または)
30%以上 ⇒ **33%以上** ※国目標値と同率

部長相当職及び課長職に
占める女性の割合

(3年間で上昇していること、または)
10%以上 ⇒ **24%以上** ※国目標値と同率

ボランティア休暇の促進

「ボランティアなど地域活動への参加を
支援する措置」と**地域活動を明記**

時間外労働等の
合計時間数の平均

各月45時間未満 ⇒ **年平均で月30時間未満**
※国認定基準（くるみん）と同率

男性労働者の
育児休業取得率

7% ⇒ **30%以上**
※国認定基準（くるみん）と同率

認証の有効期間

有効期間：3年間 ⇒ **5年間**

施策分野Ⅲの取組み予定（昨年度資料）

	DV相談窓口の認知度向上	予防教育・啓発等の取組
R8	アンケートとその結果をふまえたDV防止啓発の実施 - 中学生や中学生の保護者にアンケートを行う。 - アンケートを行うことで、相談窓口の認知度を高め、被害者を早期に相談窓口につなげることで必要な支援を受けることめざす。 - アンケート結果をふまえ、実情に応じた啓発を行う。 アンケート結果から「誰にも相談しない」理由を把握	アンケートとその結果をふまえた中学生へのデートDV防止啓発の実施 - 市内中学生向けのデートDV防止啓発リーフレットを作成・配布 - デートDV防止啓発授業受講後に、相談窓口やDVに関するアンケートを実施 - アンケートの実施により、授業やリーフレットの内容を振り返ることでデートDV防止啓発内容の定着を図るとともにアンケート結果をふまえ、重点的に取り組む方向性を確認し、啓発を行う。 アンケート結果をもとに、啓発内容の受止め状況を把握
R9	把握した理由を分析し、より効果的な啓発手法を検討 アンケートの実施（毎年度）	把握した状況を分析し、重点的に取り組む方向性を確認 アンケートの実施（毎年度）
R10以降	毎年度把握した理由を分析し、効果的な啓発手法の検討を行う	毎年度把握した状況を分析し、重点的に取り組む方向性を確認し、効果的な啓発手法の検討を行う

施策分野Ⅲの今年度事業について

○DV相談窓口の認知度向上（DV防止啓発の実施）

◎相談窓口の認知度を高めることを目的としたアンケートの実施（令和8年7月末現在）

仮に自分が被害を受けた場合に「誰にも相談しないと思う」と回答した方は全体の **5.4%** であったが、理由は「他人に知られたくないと思うから」との回答が最も多かった。



相談窓口の認知度を高め、被害者が相談してもいいと思ってもらえるための啓発

認知度向上の啓発

- ・ 常時、本市ホームページやSNS、ポスター等を活用したDV・デートDV防止啓発を実施
- ・ 女性に対する暴力をなくす運動期間（11/12～25）におけるDV・デートDV防止啓発の実施

本市広報紙等への相談窓口情報掲載、街頭啓発、啓発動画放映、市役所1階でのパネル展示やパープルライトアップ等を実施

- ・ DV防止啓発カードを作成し、関係先や関係会議等で配布
- ・ 市内中学生及び保護者に対し、DVに関するアンケートを実施



大阪市のYouTubeで
動画を配信中！！

<https://x.gd/9lzd2>



施策分野Ⅲの今年度予定事業について

○予防教育・啓発等の取組（デートDV防止啓発の実施）

- ◎市内中学生を対象にデートDV防止啓発授業及び受講後アンケートの実施(令和8年7月末現在)
- 「DVについての理解が深まった」と回答した方は全体の **96.3%** である一方で、
「事情があれば暴力は仕方ないと思う」と回答した方が **10.5%** であった。



暴力は決して許されるものではないことを知ってもらうための啓発

デザイン専門学校とタイアップ

- ・将来のデザイナーに、デートDV（暴力）は人権侵害であり、決して許されるものではないことを理解してもらったうえで、性別を問わず、デートDVを自分事として捉え、相談してもいいんだということを認知してもらえそうな啓発デザインを作成してもらい、若者向けの広報啓発を実施。

人権学習授業

- ・デートDV出前講座
- ・区DV相談窓口職員との交流・区役所見学
- ・プレゼンへの出席・指導助言 等

デザイン公募

- ・ポスター
- ・キャラクター

選定

- ・市民局若手職員による意見募集

広報啓発

- ・ポスター掲示
- ・ポスター画像（スライド動画含む）を用いたデジタルサイネージ放映
- ・キャラクターを用いた啓発グッズの配布

来年度以降の取組みについて（特に委員からご助言いただきたい事項）

施策分野Ⅰ

- ◆ 子どもだけでなく子どもを取り巻く周囲の大人に対する啓発が必要なことから、親及び教職員向け啓発コンテンツの作成及び周知について
- ◆ 教職員向けにセミナー等の実施について
- ◆ 今年度作成した動画やリーフレット等のコンテンツの有効活用方法について

施策分野Ⅱ

- ◆ 認証制度の認知度向上を目的としたPRイベント等（令和9年度については市長表彰イベント開催予定）の実施手法について

施策分野Ⅲ

- ◆ 将来のDV加害者、被害者、傍観者を減らすため、若年層向けのデートDV防止啓発物（ポスター・動画・リーフレット・グッズ）の効果的な活用方法について
- ◆ 市内中学生及び保護者へのアンケート結果を分析し、相談に至らない要因を改善するための啓発方法について